

## 4線式ロードセル用避雷器

## ■ 型式

RF-420C

4: 4線式

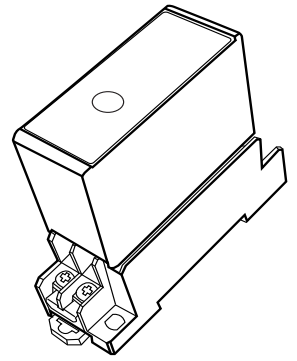
C: セル

## ■ 用途

4線式ロードセルセンサ

交換モニタ: 無し  
通報出力: 無し

本器は信号ラインに生じた誘導雷サージを吸収し、電子機器を保護する避雷器です。



## ■ 性能

最大連続使用電圧 $U_c$	信号: 2.5V	印加: 20V	
動作開始電圧 (1mA時の電圧)	線間	信号: $4V \pm 10\%$	印加: $27V \pm 10\%$
	線接地間	230V $\pm 20\%$	
電圧防護レベル $U_p$	線間	信号: $20V \pm 10\%$	印加: $50V \pm 10\%$
	線接地間	650V (8/20 $\mu$ s)	
公称放電電流 $I_n$	10kA (8/20 $\mu$ s) 1線あたり		
漏れ電流	線間	1 $\mu$ A以下 ( $U_c$ にて)	
	線接地間	2 $\mu$ A以下 (250Vにて)	
静電容量	線間: 60pF以下 対地間: 3pF		

## ■ 対応規格

JIS C 5381-21 カテゴリC2 (8/20 $\mu$ s 10回)JIS C 5381-21 カテゴリD1 (10/350 $\mu$ s 2回)

RoHS指令適合

## ■ 特長

- ・ サージ吸収能力が大きい
- ・ 並列接続で追加取付工事が簡単。
- ・ メンテナンス時、電源ラインは途切れない
- ・ DINレール取付可能

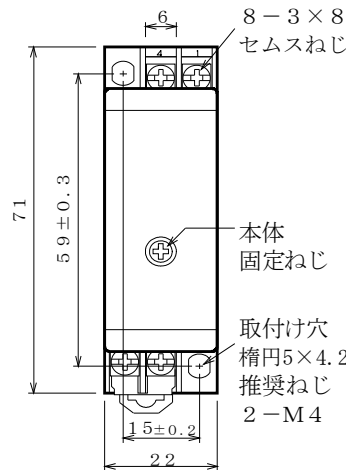
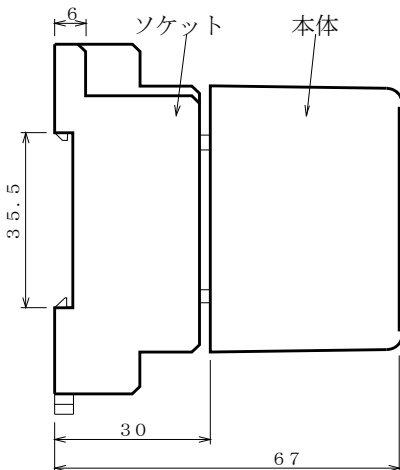
## ■ 設置仕様

使用温度範囲:  $-10 \sim +60^\circ\text{C}$   
 使用湿度範囲: 5~90%RH以下(結露しないこと)  
 寸法: W22×H71×D67  
 重量: 約60g

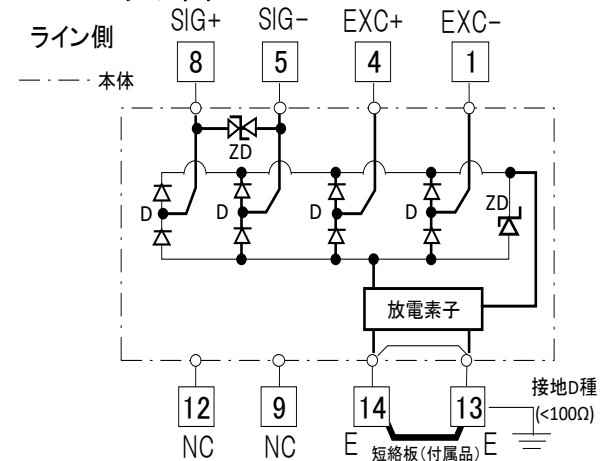
## ■ ソケット仕様 (標準付属品)

型式: PYFZ08  
 構造: プラグイン構造  
 接続方法: M3ネジ端子接続(トルク1.2N・m以下)  
 端子ネジ材質: 鉄にクロメート  
 短絡板: 真鍮(接地端子13-14用付属品)  
 取付: 直ネジM4取付、DINレール取付(35mm幅)  
 ハウジング材質: 難燃性樹脂\_黒

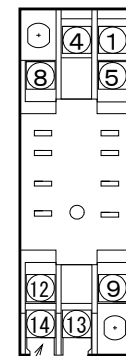
## ■ 外形寸法図 (単位: mm)



## ■ ブロック図



## ■ 端子配置



端子名称	番号	符号
ライン	⑧	SIG+
	⑤	SIG-
	④	EXC+
	①	EXC-
接地	⑬-⑭	E
その他	⑫	NC
	⑨	SH

# 4線式ロードセル用避雷器

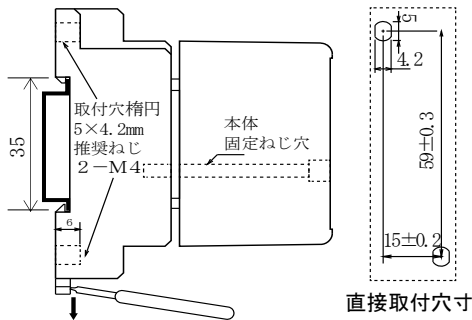
本器は信号ラインに起因する誘導雷サージより機器を保護する避雷器です。  
 メンテナンスを容易に行え、省スペースでDINレールに取付けられる構造で電子機器の保護に最適です。

## ■ 取付方法

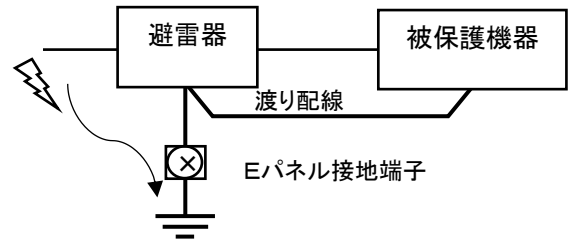
DINレール(35mm幅)取付可能

DINレール取付時はソケット  
 底部の固定爪の方から  
 引っかけて、可動爪の方を  
 押し込んで取付けます。

取外時はマイナスドライバー  
 等を使用し、溝に引っかけて  
 可動爪を下ろして外します。

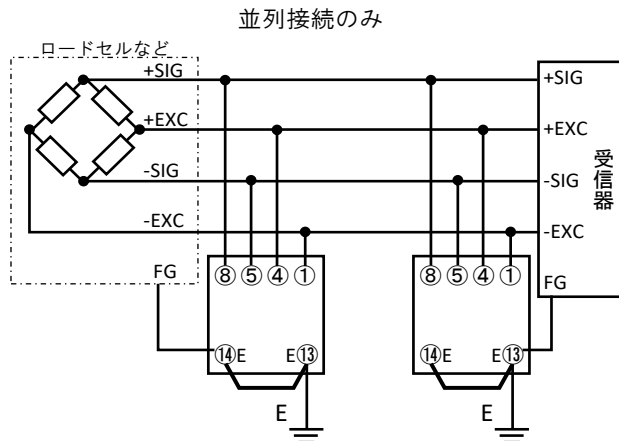


## ■ 効果的な渡り配線

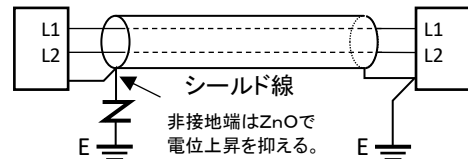


保護したい機器のフレームグランド端子を避雷器の端子Eに  
 接続してからパネルの接地端子に接続すると、被保護機器に  
 誘導雷サージが及ばないようになります。

## ■ 接続例



## ■ 効果的なシールド端対策



ノイズ対策として1点接地を行います。誘導雷対策としまし  
 ては非接地端の浮遊容量にチャージされたエネルギーが  
 ケーブルの耐圧以上の高電圧になった場合、ラインへの侵入  
 が生じますので非接地端はZnO(酸化亜鉛式吸収素子)で電位  
 の上昇を抑えて下さい。

## ■ 使用上の注意事項

- 【接地】ケーブルのサイズは2.0sq以上、D種(100Ω以下)にて必ず行い、長すぎて余った接地線はループ状にしないで下さい。
- 【接地線の共用】避雷針アースや高圧電力アースとの共用は避けて下さい。(接地線から避雷器や機器にサージが侵入する危険性あり)
- 【ネジ締め】ネジの緩みがないよう注意して下さい。接合部で放電を起こし、高周波、高電圧を発生します。
- 【本体取付】本体取付時は型式、用途、端子番号の確認を行って下さい。(電源ラインに信号用避雷器を設置すると短絡事故の原因になる)
- 【試験】耐電圧・絶縁試験時には漏れ電流により不良と見誤ることがありますので、関係先の上記了承を得て本体を外して下さい。

## ■ 定期点検の方法

- 【点検時期】わからない間に誘導雷サージを受けている場合があります。雷シーズンの前年2回位、定期点検の実施をお勧め致します。交換用避雷器の手配中に被保護機器が誘導雷サージを受けて破損することもあります。予備品の在庫をお勧め致します。
- 【テスター】避雷器専用の簡易チェッカーCL Aシリーズをご使用下さい。各機種によって点検箇所、数値が異なりますので、詳しくは弊社HP「点検方法資料」よりご確認ください。

## ■ 保証期間

仕様範囲および正常な使用状態で製造上の故障と認められる場合、1年間とします。  
 ただし、製品の故障や不具合などによる付随的損害の補償については、その責任を負いませんので、あらかじめご了承下さい。